

福井いきいき会新聞

2022年1月発行
発行：福井いきいき会
〒919-2901 福井市中央1-9-29
0776-28-6464
発行責任者 吉岡副会長

一生勉強 一生感動 一生青春 (第36号)



寒さに負けず庭に咲いた寒椿

新年に向けて、 当会役員挨拶

会長 福井康人
福井いきいき会の皆さんあけましておめでとうございます。今年で十年目に入りました。福井いきいき会も、最初は手探りの状態の井戸端会議でしたが、皆さんの元気な笑顔のおかげで無事新年を迎えることができました。お互いに多難な人生経験を乗り越えてこられたと存じますが、皆さんの素晴らしい出会いを通じてたくさんのありがたいご厚情を頂

戴し感謝に堪えません。ただ悲しいかな歳には勝てないもので多くの方がご参加不可能になつて参りました。八十歳を超えますと体力の変化がいつ起きても当然と言えらるでしょう。残りしばらくの人生を若者に嫌われず、お互いに我を張ることなく感謝の気持ちで真の思いやりを持ちながら、やっとなと出合った絆を大切に人に優しく生きる勉強をしたいと思つておりますので今年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

副会長 小林久子

新しい年へ跳ぶ
新型コロナウイルスという疫病が世界中を襲い経験したことのない不安感が続いた二〇二一年。改めて感染症の恐ろしさを知ることになった。自然界がウィルスによって人間を試しているように思える。「環境少女」グレートウンベルさんが唱える温暖化防止に関心をもちたい。コロナ禍の中でいきいき会文化祭を実現した事は、会員の力の結集であり今後に期待したい。私たちは今何でもできる素晴らしい「時」を持つている。「時」を無

駄にしないで明日もまた来年も自分らしく佳き年にしてきるよう努めよう。

副会長 吉岡芳夫

当会は、設立から十年目に入ります。会の運営に携わる人は、当時七十五歳前後だったと思います。当会をさらに十年続けようとするなら、運営に携わる方は、その年頃の人が中心とならなければならぬでしょう。今後、会員の多くが八十歳を超えるようになってしまふので、これからは余生を楽しく過ごせる活動だけでよいと考えるのは、早計だと思ひます。当会がこれまで果たしてきた役割は、まだ元気なのに行き先がない方々に、生き甲斐を与える場の提供であつたはずで、今必要なのは、これから入会しようとする高齢者のために魅力的なサークル活動を用意することだと思ひます。一生勉強、一生感動、一生青春という当会のモットーは死語ではなく、これからも目指すべき当会の指針と言えましよう。

相談役 濱田芳雄

私たちの福井いきいき会が、平成二十五年に誕生してから今日まで、いきいき会に参加された方は、少なくとも、三百五十名以上になります。私は、昨年は病

かつたのですが、皆様から頂いた励ましのお言葉に元気がつけられ、年を越すことができませんでした。そこで、私の今年の課題は、皆様への恩返しとして、いきいき会の灯を消さないことと決意しました。後輩高齢者のためにも、当会が、私たち高齢者にとつて「なくてはならない場所」「心のゆとりがとれる場所」「力をつけられる場所」「楽しみを味わえる場所」「健康が保たれる場所」であるように、尽力していこうと思ひます。終わりに皆様のお支えに感謝申し上げます。

顧問 寺岡弘文

地球温暖化、独裁国家盤踞、人倫喪失、等々。この「おぞい」世界を変えていくには、高齢者が先頭に立つて輝いていかななくてはなりません。本会も十年近くが経過しました。ここで目標を大きく定めて、果敢に展開する時期に来ているように感じます。会員の皆様、大いに議論し入ひましよう。

顧問 山田文雄

いきいき会のサークル活動に参加して思ふのは高齢者に関心のある健康をテーマにする発言が増え議論が盛り上がる事です。個人的なこと恐縮ですが、昨身体調を崩してその大切

さが身に染みたと云つて、健康に限らず、福祉や家庭の問題などで女性会員の活発な意見が見られます。だから今年は何れを合せて高齢者にとつてできるだけ身近で関心のあることをテーマに取り上げたら参加者が増え、会員の議論も活発になるのではないかと感じている次第です。

寺岡弘文

十二月十七日の歴史を築しむ会において、「大宝元年(七〇一年)王朝交代の真実」をお話ししました。その議論の過程で、「天皇制に危機が迫っているのに政治家達は一体どうしているのか」が、参加者全員の共通認識になりました。残念ながら、天皇は万世一系などといった、何処にも書いてないことが未だに大手を振つてのさばつています。「続日本紀」巻式には「建元為大宝元」と、大宝元年に建元したことが明記されています。建元とは新王朝の天子が新たに元号を定めたことで、単に年号が代わる改元とは峻別されます。「日本書紀」第三十巻の末尾には、「六九七年に持統天皇(実際は倭国筑紫王朝の最後の天子)が孫の珂瑠皇子に禅位し」、「続日本

紀』卷壹の冒頭には、(同年珂瑠皇子が受禪し、日本国(奈良王朝)の文武天皇として即位した)と書かれています。禪位受禪即位は、血縁者でない有徳の人に位がゆずられ、それを受けて即位すること、讓位とは異なり、すなわち、日本国に初代天皇が誕生した、逆にならば、それまで天皇は存在していなかった、ことを意味しています。事実、文武天皇を除いて、神武から元正(げんしよう、文武天皇の母・元明の娘、唯一の女系の女性天皇)までの天皇名(漢風諡号)は、八世紀後半に天智の子・大友皇子(明治三年に弘文天皇として追号)の曾孫・淡海三船が一括進出したので、筆者は天皇名を付けずに、神武、継体、持統などと便宜上呼びならわしています。天皇の尊称は、唐の第三代高宗が称したことが始まりです(六七四年)。

さて、明治以降の皇室典範では、皇位継承は男性に限られているので、現時点での順位第一位が、皇嗣の秋篠宮さま(五十歳)、二位が秋篠宮長男の悠仁さま(十五歳)、お茶の水女子大付属中学三年)の三位が上皇さま(平成天皇、米寿)の弟陸宮さま(八十六歳)となり、天皇皇后両陛下の長女愛子さま(二十歳、学習院)は除かれています。いわゆる女性天皇は、これまでに推古、持統、元明、元正、孝謙、称徳(孝謙の重祚)と、江戸時代の二人の女帝、明正と後桜町を含めて八名十代になります。二十二年に、有識者会議の意見が具申されましたが、意義不明で根本問題を避けています。旧華族の材を重用するにしても、皇室の一員となつて活動・活躍していただくには、血統・血筋だけではだめで、相応しい教育を受け、訓練を積むことが肝要であり、品位・品格・人間性なども常に問題視されます。まずは、女性天皇を認めることから始めて、女系の女性天皇について、も広く国民的議論を深めていくことが肝要でしょう。いわゆる専門家をせにしてははいけません。衆議院議員四六五名、参議院議員二四五名の計七、百十名にも及ぶ国会議員に、惰眠をむさぼっている暇など全くありません。どうするか、正しい歴史認識に基づいた「象徴天皇制の危機」を認識して下さいますよう、切に願います。次第であります。

大坂なおみ選手に思う
吉田一郎

テニスの大阪なおみ選手に私は注目しています。大阪選手は世界の四大タートルをすでに四つ(二〇二一、十月現在)取っています。

これまでの日本人選手にはないパワフルなテニスに驚きますが、それだけにとどまりません。彼女の発信するメッセージ(大阪選手は昨年(二〇二〇)九月の全米オープンでも優勝しました。その大会期間中に、警察の暴力によって殺害された黒人の名前をプリンとしたマスクを連日着用して、黒人差別への抗議の意思を表明したことは、記憶に新しいことです。彼女のようには、世間の人の与える影響も強いものです。その影響力をよく理解して発信していることに感心します。彼女は日本社会のありかたにも貴重な問題を提起していること、そしてハーフであること、この二点だけであること、この二点だけでも日本では生きていくのに、他の人以上に苦勞が伴うこと、女性として

いうのは、大阪選手だけでなく、日本の女性一般に言えることです。日本社会には女は黙っていろ、女は男に従つて(ジェンダー差別)が、根強く残っているからです。

そのことはオリンピック組織委員会の森前会長「女性がいると会議が長くなる」「立場をわきまえていない女性がいらない」という発言で、はからずしも表面化しました。大阪選手は森会長の発言に対しても「ちよつと無知な発言」と冷静に評しました。彼女が黒人系のお父さんと、日本人のお母さんから生まれたハーフであることも、日本人として生きていくうえで苦勞が伴います。黒人系の人を「黒んぼ」と呼んで蔑み、差別してきた歴史が、日本にはあるからです。彼女の日本語がたどたどしいことを、不思議に思う日本人も少なくありません。日本人なら日本語はペラペラ話せて当たり前、という無意識の感覚があるからでしょう。バイアス(無意識の偏見)と言われます。今年(二〇二一)五月



大阪なおみ選手

の全仏オープンで、彼女は途中棄権しました。年々苦しんできた「うつ」を告白し、試合を続けられないと表明しました。試合後のインタビューが、試合後の大阪選手にできなかった大会の主催者側に対して、大会の罰金一万五千ドルを課しました。それが長年の慣例だったからです。しかし、大阪選手の間で、選手や医学関係者を戦う選手や医学関係者の間で、たくさんの共感と支持を集めました。大阪選手への「告白」は、これまで選手のメンタルヘルスに関心を払ってこなかった大会運営の「慣習」を見直すきっかけになりました。国際テニス連盟はこの問題を受けて、早速六月一日に「改善のため必要を見直しをする」と、必要な見直しをしました。女性が発表しました。信する堂々と社会に大きな

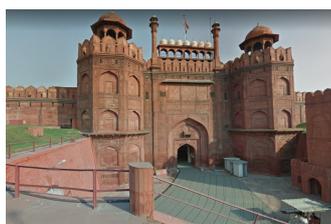
令和4年1月の行事予定表

日	曜日	活動場所	開始時間	行事名	
1	土				
2	日	新年のため			
3	月	4日まで休会			
4	火				
5	水	B	13:00	経済指標を考える会	
6	木	B	13:00	囲碁将棋	
		ハピリン4F	13:30	芸能倶楽部	
7	金	市体育館	13:00	ピンポンの会	
		B	13:00	卓話を聴く会	
8	土	Aマ	B	13:00	新聞記事を読む会
9	日	Aマ	B	13:00	夜明けの会
10	月		B	13:00	合唱サークル(40)
11	火		B	13:00	運営委員会
12	水		B	13:00	囲碁将棋
13	木	B	13:00	易しい科学の話	
		西体育館	13:00	ピンポンの会	
14	金	Aマ	B	13:00	よろず討論会
15	土	Aマ	B	10:00	私の健康法
		B	B	13:00	川柳同好会
16	日	Aマ			
17	月	B	13:00	短歌の会	
		別会場	13:00	手作りの会	
		西体育館	13:00	ピンポンの会	
18	火	B	10:00	楽しい暮らし方	
		B	13:00	映画鑑賞会	
19	水	アオッサ6階レクB	13:30	うたのサロン	
20	木		B	13:00	囲碁将棋
21	金	Aマ	B	13:00	歴史を楽しむ会
		ハピリン4F	13:30	芸能倶楽部	
22	土	Aマ			
23	日	Aマ			
24	月		B	13:00	スマホ勉強会
25	火		B	13:00	音楽鑑賞会
26	水		B	13:00	インターネットで世界旅行
27	木	アオッサ706・707号室	13:00	例会	
28	金	Aマ	コートダジュール	13:00	カラオケうた会
29	土	Aマ			
30	日	Aマ			
31	月				

Aマは、3階のマージャン室

令和四年 一月の行事予定
例会(講演)
 身近な地名から古代史へ
 講師 片桐哲郎氏
 久しぶりの外部講師の講演会です。
 片桐先生は、元福井県教育研究所長(専門は英語を務められた方です)。先生は、退職後に地元で「古代史を調べられ、演題の「身近な地名から、歴史の本を出版されたい」とい先生は多才で、真木柚布子さんが歌う足羽川雨情のう有名なカラオケ曲の作詞もしておられます。
歴史を楽しむ会
 新撰組が幕末の日本を

動かした「その二」
 講師 大野勉氏
 今回は、薩摩、長州、土佐等の藩が繰り広げ、幕論を背景に、佐幕派の会津藩主・松平容保が率いる京都・安守維新隊の過激な出羽の浪士清川八郎の動きを交えながら皆さんと一緒に考えたいと思います。
映画観賞会
 十二月は、洋画は「仔鹿物語」邦画は「無法松の一生」を上映しました。見たい映画がありましたら主宰者(090-1392-5405)



デリーの赤い城

迄お知らせください。
インターネット世界旅行
 案内先
 人口十四億人弱の大国、インドの首都、デリーとニューデリーに行ってみましょう。
 これまで見てきた西洋とは全く違った文化や街並みが見られます。今回は、その第一回目です。

易しい科学の話
 (案内は吉岡副会長)
 炭酸ガスによる温暖化と新しい対策
 炭酸ガスが増えると地球の温暖化が進み、自然災害が過酷さを増してきます。炭酸ガスは、なぜ地球の温暖化を起すのでしょうか？温暖化を止めるには、炭酸ガスの排出を減らすか、その原理を解説し、温暖化を防止する新しい方法なども紹介したいと思います。
 講師 吉岡副会長
スマホ勉強会
 今からスマホを使うのは無理と思いませんか？まずは、何か一つでもできるようなになると、

案内簡単だとわかってくださいます。現金で支払う代わりにペイペイ(PayPay)で支払う、ふく割を使ったり引きをしてもらう。写真も送れるし、スマホの話しかけるだけで即座に情報が得られる。便利なスマホの使い方を一緒に勉強していきましょう。
 講師 吉岡副会長
カラオケうた会
 開催日を第四金曜日に変えましたので、参加者は注意してください。
ピンポンの会
 開催場所が、市体育館と西体育館の二か所になりましたので注意してください。